

科学技術の研究開発、5年で26兆円投資 政府会議が答申

2015/12/18 11:04

保存

印刷

リプリント



共有

政府の総合科学技術・イノベーション会議(議長・安倍晋三首相)は18日、2016年度から5年間の科学技術政策の基本指針となる「第5期科学技術基本計画」を答申した。政府が投じる研究開発投資を国内総生産(GDP)比1%、5年間の総額で約26兆円とすることなどを盛り込んだ。来年1月にも閣議決定する。

科学技術基本計画は5年ごとに策定されている。5期目となる今期は、情報技術など複数の技術を組み合わせ、新たな製品やサービスを生み出すための研究「Society(ソサエティ)5.0」を重点的に進めることなどが柱。

政策の成果を検証するため、「女性研究者の採用割合を3割にする」「研究開発ベンチャーの新規株式公開(IPO)を2倍にする」などの数値目標を初めて盛り込んだ。

保存

印刷

リプリント

